

広がる未来へ

58

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●地球温暖化防止の取り組み 2月は省エネルギー月間です

昨年、エコチャレンジ宣言の登録者から募集した、地球温暖化対策実践取り組みアイデアの一部をご紹介します。これは市民の皆さんが、ご家庭などで実践している省エネ行動などの報告です。これらを参考に、簡単なことから1つずつ実践してみてくださいはいかがでしょうか。

◆アイデア紹介

1 使わなくなった浄化槽やバスタブに雨水を溜め、花の水やりを使用するなどして水の使用量を減らす。



2 夏はレースのカーテンをミラーカーテンに交換し、冬は床とカーペットとの間に断熱シートを敷くことでエアコンの使用量を減らす。



3 ホットカーペット

ト用アルミ断熱シートを、浴槽の湯冷めを予防するための保温シートに利用する。また、



発砲スチロールの箱の中にアルミ断熱シートを貼り付けて、保温鍋のように使用することで電気やガスの使用量を減らす。

4 冷蔵庫内の棚ごとにフィルムを吊るし、冷気が逃げるのを防ぎ、電気の使用量を減らす。

5 お風呂の中に水の入ったペットボトルを入れて水かさを増し、水の使用量を減らす。

※詳しい内容や、ほかのアイデアなどは、市ホームページで公開していますのでご覧ください。

▼たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会事務局(エコエネ推進室内)

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.taharaaichi.jp/>



省資源とリサイクル

平成19年度から、化粧品やびんもリサイクルできる対象品目に加えられ、リサイクルが進められているガラスびん。今回は、ガラスびんのリサイクルについてご紹介します。

ガラスびんのリサイクル

ガラスびんは、細かく砕いてリサイクルしても、素材の品質劣化が少ないのが特徴です。繰り返し使用しても、同じ品質のびんをつくるのが可能です。無色と茶色のびんはリサイクルされ、新しく作られるびんの原料として、たくさん使われています。そのほかの色ものは、タイルなどに再生されています。



きちんと分別しよう!

新しくできるびんの品質をよくするためには、異物が混入しないようにすることが大切です。きちんと分別しましょう。

ガラスびんの対象品目は?

- ・調味料や食用油のびん
- ・酒類・飲料のびん
- ・化粧品のびん
- ・ビールびん・2升びん

※陶磁器耐熱ガラス・ガラス食器割れたびんは「割れガラス陶器類」へ出しましょう。

出し方

キャップや王冠、ワインのコルクなどを取り除き、すすいで乾かす。コンテナへは、色ごとに仕分けをして、袋などから出して入れましょう。

ごみ収集カレンダーや「ごみの分け方出し方」パンフレットで確認し分別にご協力ください。

清掃管理課
☎23局65500
FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

34